年間授業計画　新様式

高等学校 令和6年度（２学年用） 教科　　国語　　科目 現代文演習標準α

教　科：　国語　　科　目：　現代文演習標準α　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　G　組

教科担当者：（①：大川）　　（②：山口）

使用教科書：（ 三訂版　学習のポイントが見えるよむナビ１現代文（いいずな書店）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要 な国語について，その特質を理 解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」，「書く こと」，「読むこと」の各領域に おいて，生涯にわたる社会生活 における他者との関わりの中 で伝え合う力を高め，自分の思 いや考えを広げたり深めたり している。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と 関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとして いる。

科目　現代文演習標準α　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能について理解し，それを適切に使おうとしている。	論理的に考えることに加え、章や資料を対象化して，その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考えている。また、他者の考えと自分の考えを吟味したり検討したりすることを通して，自分で新しい考えを生み出そうとしている。さらに、状況や場面に応じた他者との関わりの中で，必要な事柄を正確に伝え，相手の意向を的確に捉えて解釈したり，効果的に表現したりしている。	言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。また、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めようとしている。さらに、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち，生涯にわたる読書習慣の基礎を築き，社会人として，考えやものの見方を豊かにしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	問題１～１０ 【知識及び技能】 ⑴言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力、判断力、表現力等】 A書くこと B読むこと	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で文章を調べる。 ・小説において登場人物の心情を読み取る。 ・小説の主題を把握し、自分なりに解釈を行う。		○	○	【知識・技能】 ・常用漢字を文や文章の中で読んだり書いたりしている。 ・評論や小説、随筆の表現の特色を踏まえて、読解している。 ・自国の言語文化について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開を的確に把握し、自分なりに解釈を試みている。 ・様々な文章の表現に留意しながら、文章を構成したり、展開したりしている。 ・自分の考えが伝わるよう、自分の意見や立場を明確にして発言したり、文章を書いたりしている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深ながら、言葉による見方・考え方を用いて、他者と関わろうとしている。 ・国語を尊重して、読む力・話す力・聞く力の向上に向けて、知識を習得したり、活用したりしている。 【評価の方法】 ワークの確認、知識事項の小テスト	○	○	○	21
	定期考査				○		○	○		1
2学期	問題８～１９ 【知識及び技能】 ⑴言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力、判断力、表現力等】 A書くこと B読むこと	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で文章を調べる。 ・小説において登場人物の心情を読み取る。 ・小説の主題を把握し、自分なりに解釈を行う。		○	○	【知識・技能】 ・常用漢字を文や文章の中で読んだり書いたりしている。 ・評論や小説、随筆の表現の特色を踏まえて、読解している。 ・自国の言語文化について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開を的確に把握し、自分なりに解釈を試みている。 ・様々な文章の表現に留意しながら、文章を構成したり、展開したりしている。 ・自分の考えが伝わるよう、自分の意見や立場を明確にして発言したり、文章を書いたりしている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深ながら、言葉による見方・考え方を用いて、他者と関わろうとしている。 ・国語を尊重して、読む力・話す力・聞く力の向上に向けて、知識を習得したり、活用したりしている。 【評価の方法】 ワークの確認、知識事項の小テスト	○	○	○	25
	定期考査				○		○	○		1
3学期	問題２０～２５ 【知識及び技能】 ⑴言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力、判断力、表現力等】 A書くこと B読むこと	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で文章を調べる。 ・小説において登場人物の心情を読み取る。 ・小説の主題を把握し、自分なりに解釈を行う。		○	○	【知識・技能】 ・常用漢字を文や文章の中で読んだり書いたりしている。 ・評論や小説、随筆の表現の特色を踏まえて、読解している。 ・自国の言語文化について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開を的確に把握し、自分なりに解釈を試みている。 ・様々な文章の表現に留意しながら、文章を構成したり、展開したりしている。 ・自分の考えが伝わるよう、自分の意見や立場を明確にして発言したり、文章を書いたりしている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深ながら、言葉による見方・考え方を用いて、他者と関わろうとしている。 ・国語を尊重して、読む力・話す力・聞く力の向上に向けて、知識を習得したり、活用したりしている。 【評価の方法】 ワークの確認、知識事項の小テスト	○	○	○	21
	定期考査				○		○	○		1
										合計 70